

見て見て。



これ、オニヤンマだ！



おじいちゃんと釣りを
してる写真なんだ。



恐竜を見
に行った
んだ



9月2日始業式の朝。「おはよう。これ、持ってきたんだ」と連絡袋の中から『夏休みの思い出の一品』を取り出しながら笑顔で話し始める子がたくさんいました。「これは、肉食恐竜なんだ」と自分で描いた恐竜の絵を見せながら話す子。「ここからのぞくとね…」と自分で作った万華鏡を見せる子など、どの子も夏休み中に体験したことを伝えたい思いがあふれていました。

「僕、おばあちゃんちに行ったんだ」「私は、キャンプしたよ」「あ、おばあちゃんち行って、それからBBQもしたよ」とお友達が経験したことと自分の思い出が似ていることに気づいて会話がはずんだり、展示してある思い出の一品を見ながら「スカイツリーだ。行ったことあるよ」と話したりしていました。初めは、「先生。見て、見て」「聞いて、聞いて」と始まった思い出話。気づけばお友達に直接伝えて、楽しさを共有していたことに成長を感じました。

お友達と楽しさを味わったり、新しいことにチャレンジしたりしながら、さらに充実した2学期が過ごせるようにすすめていきたいと思ひます。